

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品……法人税法の規定に基づく定額法による減価償却を実施している。

(2) 消費税等の会計処理

税込方式を採用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
著作権	1,000,000	－	－	1,000,000
定期預金	18,055,860	－	－	18,055,860
有価証券	41,944,140	－	－	41,944,140
小計	61,000,000	0	0	61,000,000
特定資産				
新検査法研究引当資産	0	－	－	0
小計	0	0	0	0
合計	61,000,000	0	0	61,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
著作権	1,000,000	－	1,000,000	－
定期預金	18,055,860	－	18,055,860	－
有価証券	41,944,140	－	41,944,140	－
小計	61,000,000	0	61,000,000	0
特定資産				
新検査法研究引当資産	0	－	0	－
小計	0	0	0	0
合計	61,000,000	0	61,000,000	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	21,998,840	19,689,029	2,309,811
合計	21,998,840	19,689,029	2,309,811